

赤ちゃん誕生!

市之瀬の海くん



好きなハワイの言葉で、輝きを意味するお名前。「瑠璃も玻璃も照らせば光る」のことわざのように、才能を開花させ、人生を輝かせてほしいという願いが込められて

生えているようです。海が大好きで、準子さんが生まれた育った南伊豆へ移住してきた水口さん家。「都会にはない美しい自然に囲まれているので、海や山で遊びまわると

市之瀬の水口博文さん、準子さん一家からおめでたいニュースです。1月20日に元気な男の子、璃海(りの)くんが産まれました。二人の

います。3歳の長男、来輝(らき)くんは、「僕、お兄ちゃんだから」と頑張ることや我慢することが増えたそう。早くも兄としての自覚が芽

南上新聞

月刊 みなみかみしんぶん

平成25年 3月 弥生

南伊豆から世界に発信する南上新聞



市之瀬で葉っぱビジネス発足!!

映画「人生、いろどり」でも話題となった高知県上勝町の葉っぱビジネス。農山村などどこにでもあるような、みじや椿の葉に着目し、全国の料亭や、市場に出荷して、年商2億円以上という実績をあげているという実在のド

なつて欲しいです」と喜びいっぱい語ってくれました。

弊紙の防災コラムにイラストを提供してくれている上野の鈴木ちささんをはじめとする、3人の地元アーティストが、伊浜のレストラン「しいの木やま」で合同展を開催します。鈴木さんは油絵具やアクリル絵具、クレパスなどの画材を融合したミクストメディアによる作品を

ぶらり訪れてみませんか。「春の日 ハレノヒ 三人展」



at 小さな宿&レストラン しいの木やま

発表。下小野のイシタリヨウタさんは和紙やケナフなど風合いのある紙に色彩豊かな柄を描いたペン画を出展。松崎町の猪原岳さんは食器や照明などの手作り木工作品と、三者三様バリエーションに富んだ作品が並びます。会期は3月20日から4月8日まで。(12時~17時) (休火)

ルームストーリーです。しかも、この活動の主体は、地域のお年寄り。70歳、80歳を越える方々が、モバイル端末を使いこなし、バリバリ仕事をこなしています。地域にありふれた葉っぱが生業となり、お年寄りが元気になって、地域も活性化するという、素晴らしい

い循環が起っています。そんな葉っぱビジネスの試みが市之瀬でも始まるうとしています。イーロケーション代表の山本正八さんが発起人となり、2月3日に市之瀬公会堂で説明会が実施されました。詳しくは0588-648324まで。



photo: nobuhito yamanouchi

蔵

し

kurashi

写真/岩間史朗



下小野 齊藤邸(屋号:石田屋)

最終回に登場するのは、本連載担当の写真家、岩間史朗さんの蔵。実はこの方も蔵のある家にお住まいなのだ。息子の匠さんと2年かけ荒れていた蔵をリフォームした。1階はペーシストとして活躍する匠さんの部屋。「伊豆石に囲まれているせいか、音の響きが心地よい」と、生活の場であると同時に、まるで音楽スタジオのような役割も果たしている。そして、写真器材が並ぶ2階は岩間さんの空間。「自然光の入り方が独特で、蔵ならではの柔らかな写真が撮れる」と、蔵の特徴を生かし写真スタジオとして活用。貯えるのではなく、生み出すという、蔵の新たな可能性をまた垣間見た気がする。これまでに色んなスタイルの蔵を紹介してきたが、どれも地域の重要な文化遺産。これからの大事に活用し、みんなで次世代へと継承していただきたい。

2013 MARCH

蔵のある暮らし

vol. 12

森への入口
自家製天然酵母の
新窯パン
毎週土曜日 10:00~17:00
南伊豆町天神原2715-11
☎0558-64-8171

あんしん おいしい 南伊豆のお米
大喜米
株式会社 アグリビジネス
リーディング
☎62-2828 下小野304 中村大軌

木のこなら何でもおまかせ
山を生かし 地域を活かす
おいしい林業
合資木材供給事業者 県知事認定林業事業者
南伊豆町毛倉野 ☎0558-62-0093